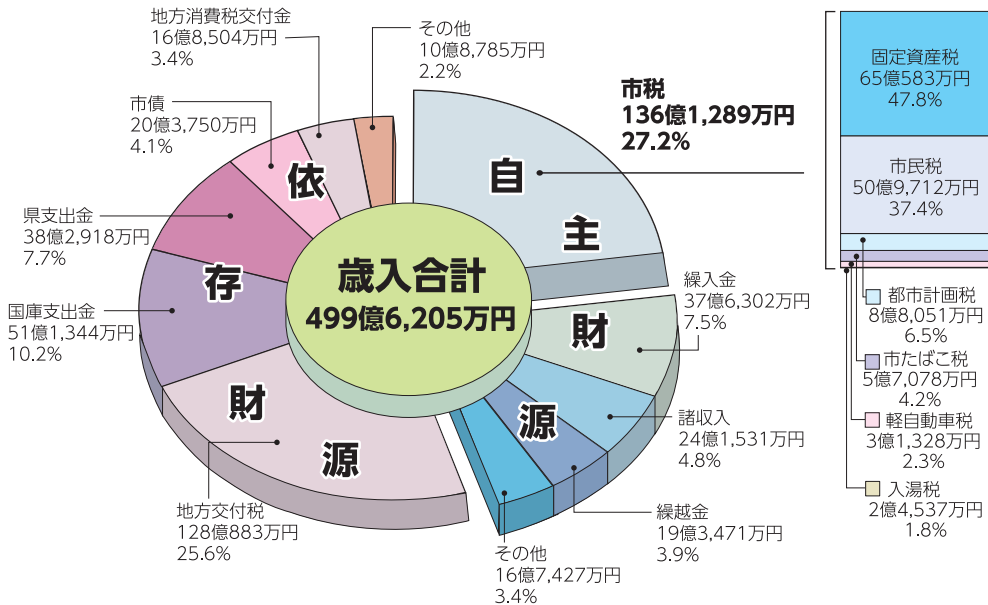


決算報告



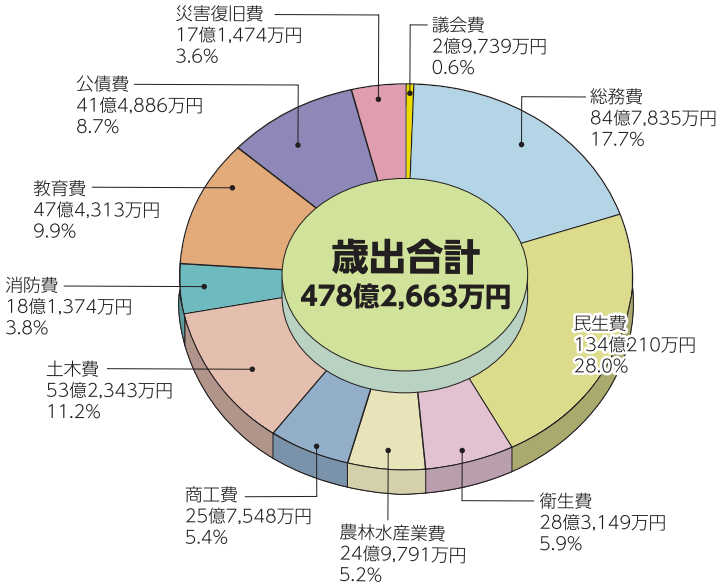
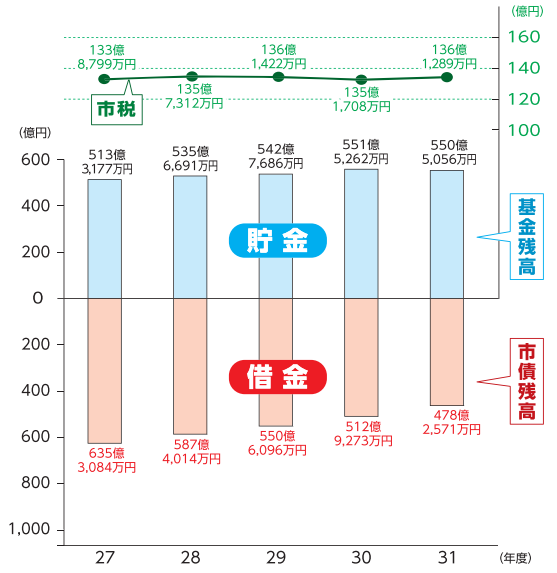
平成31年度の決算がまとまりましたので、その概要や主な取り組みを紹介します。

歳入(入ったお金)と歳出(使ったお金)の内訳【一般会計】



歳入 499億6,205万円 (464億7,632万円)
歳出 478億2,663万円 (440億4,161万円)
 ※()は平成30年度決算

市財政の推移



市民一人あたりの市債残高(一般会計)
258,325円
 平成30年度から19,897円減少しました

TOPIC 財政の用語

- 自主財源** 市が自らの手で徴収、または収納できる財源のこと。
- 依存財源** 市税、使用料、手数料、寄附金などがあります。収入にあたって国や県の関与を受ける財源のこと。
- 地方交付税** 地方公共団体が等しく合理的かつ妥当な水準で事務を遂行し、財産を管理することができるように、市の財政力に応じて国が交付するお金のこと。
- 市債** 市がする借金のこと。

特別会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	差引残額
国民健康保険事業(事業勘定)	93億3,627万円	90億6,905万円	2億6,722万円
国民健康保険事業(直診勘定)	4億3,629万円	4億598万円	3,031万円
下水道事業	30億9,372万円	28億9,586万円	1億9,786万円
地方卸売市場事業	3,124万円	2,611万円	513万円
学校給食費	3億6,355万円	3億6,325万円	30万円
農業集落排水事業	6億8,884万円	6億1,012万円	7,872万円
介護保険事業	93億7,615万円	91億9,151万円	1億8,464万円
観光施設事業	1億48万円	8,945万円	1,103万円
後期高齢者医療事業	12億6,624万円	12億231万円	6,393万円
計	246億9,278万円	238億5,364万円	8億3,914万円

※数値は万円単位の表示であるため、端数処理(四捨五入)により計や差引きが合わない場合があります。